

平成30年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

## 小論文

人文社会学部 人間社会学科

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

**非公開**

絵：M. C. エッシャー、『円の極限4』，2014年

出典：フィリップ・ジンバルドー著，鬼澤忍／中山宥訳，『ルシファー・エフェクト：普通の人が悪魔に変わるとき』，海と月社，2015年，16～17ページ，抜粋・一部改変

- 問1 この絵に象徴される善と悪の関係について、著者は三つの真実を読み取っている。「第一に、世界には善と悪の両方が満ちている。過去も、現在も、未来も……。第二に、善悪の境界線は明確ではなく、通り抜けられる。そして第三に、天使が悪魔に変わることもありうるし、悪魔が天使に変わることもありうる。」である。この記述は、具体的にはどのような場面を反映しているのだろうか。日常的、具体的な例を600字以上800字以内で述べなさい。
- 問2 善と悪についてのあなたの考えを、学びたい学問分野（哲学・教育学・心理学・社会学・社会福祉学・マスコミ学など）と関連づけながら、600字以上800字以内で述べなさい。

## 平成30年度入学試験問題（推薦Ⅱ）

# 小論文

### 人文社会学部 人間社会学科

#### 出題の意図

人間社会学科は、人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的知を基に、個人の尊厳を保ち、誰もが自由・公平に、また安心・安全に生きることが出来る社会を形成できる人材を養成することを目指す。

特に推薦Ⅱにおいては、全ての科目で十分な基礎学力を有し、論理的思考・問題解決能力に秀で、専門的学問分野・職業に対する目的意識が高く興味関心が明確な人物を求めている。

本問で使用するのは、世界的に有名な版画家、M.C.エッシャーの『円の極限4』という作品である。この絵は、黒い部分に注目すると、悪魔が群れをなして飛んでいるように見える一方で、白い方に目を移すと、天使の群れのようにも見える。そして両者が隙間なくつながることで一つの円を形成している。

問1では、この絵に対するフィリップ・ジンバルドの意見を基に、著者が抽象化して取り上げた「真実」の具体例を出させることで、文章に対する論理的理解力と文章表現力を問う。さらに問2では、この絵から想像力を働かせ、善と悪を論じさせる。こうした抽象的問に対する回答は、想像力に基づく問題解決能力が必要とされる他、現代社会や人に対する関心や論理的思考能力も試される。